

## 2023年 全社安全衛生・環境・防災活動方針

### I. 基本的な考え方

本年の災害発生件数は15件（内休業5件、不休業10件）と2020年29件、2021年23件と連続して災害件数を減少させることが出来た。2022年は「守れ！ルールと作業手順」を安全統一テーマと定め、ルールと作業手順を順守する安全活動を展開し、これまでに見られた質の悪い災害は見られなくなってきたものの、被災者の年齢別では30～49歳の中堅社員による被災が10名（約63%）と際立って多く、作業の慣れからくる軽率な行動に起因する災害が散見された。

設備面では、北九州事業所で1月にCR-2号のカウンターウエイトの脱落事故が発生し、幸い不休業であったが、長年使用している機械の保安全管理の重要性を痛感させられた。

環境面は、北九州事業所にて11月に1A炉フレアスタック開放事故が発生し、設備更新時の作業管理不足による事案が発生した。

北九州事業所では2A炉更新（パドアップ）工事が開始され、各作業手順を管理者と作業者が確認し合い、直営・協力会社一体となって進めるものとする。

2023年は、従前より取り組んでいる三現主義（現場、現物、現実）の安全の基本と共に、災害や環境トラブルを未然に防止するため、昨年同様「守れ！ルールと作業手順」を作業者に浸透、習慣化させ「事後対応」から「予防保全」へのサイクルの転換活動を確実に推進していくものとする。

### II. 取組内容

#### 1. 日本コークス工業グループ安全統一テーマ 『守れ！ルールと作業手順』

北九州事業所 『ルール厳守は災害撲滅の基本事項！各職位がルールを守り守らせると共に、職責を全うし、報連相を強化して災害の芽を摘み取ろう！！』

栃木工場 『“つもり”が積もって事故招く 初心に帰って安全確認』

#### 2. 重点目標

- (1) 休業災害0件、環境・防災事故0件、職業性疾病0件（メンタル不調者含む）、交通災害0件（出退勤途上の人身交通事故、構内における物損・人身事故など）
- (2) 心身の健康づくりと快適な職場環境・規律ある風通しの良い職場づくり  
・新型コロナウイルス感染防止による職場環境整備と働き方の創意工夫
- (3) 環境クレーム0件
- (4) 重要機械の管理の見直しとトラブル防止、自然災害発生時の安全確保・実践訓練の強化

#### 3. 重点施策

- (1) 全社員災害予防活動
  - ① 「ルール厳守」活動による作業手順の確実な遂行とリスクテイキングの防止  
・現場での作業KYの徹底とKY力の強化
  - ② 危険箇所の撲滅  
・進捗状況モニタリング体制の強化と補修専門班の機動的な活用
  - ③ 三現主義の徹底と現場との対話強化  
・現場パトロールの強化（安全対話、九州地区合同パトロールなど）
- (2) 心身の健康づくりと快適で風通しの良い職場環境づくり
  - ① ストレスチェックの実効性の向上、過重労働やメンタルヘルスによる健康障害の防止
  - ② コロナ禍における職場コミュニケーションの活性化工夫、自主的な5S+習慣の推進
- (3) 環境対策
  - ① 発生要因ごとの対策（散水、装置のメンテ等）の徹底
  - ② 環境対策ロードマップの確実な実施による環境対策装置の増強および整備強化
- (4) 設備点検強化と非常時対応訓練（防災を含む）の実施
  - ① ベルトコンベア、COG配管の点検体制の強化による火災等設備トラブルの防止
  - ② 地震、台風、集中豪雨等の自然災害時に備えた、避難訓練等の計画的実施

以上